



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月12日

上場会社名 株式会社幸楽苑 上場取引所 東
コード番号 7554 URL <https://www.kourakuen.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役会長兼社長（氏名） 新井田 傳
問合せ先責任者（役職名） 専務取締役（氏名） 渡辺 秀夫（TEL）024-943-3351
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	13,713	5.0	427	—	403	—	512	—
2024年3月期中間期	13,063	3.1	△409	—	△421	—	△253	—

（注）包括利益 2025年3月期中間期 508百万円（—%） 2024年3月期中間期 △244百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	32.59	32.59
2024年3月期中間期	△16.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	10,005	2,217	22.1
2024年3月期	10,467	1,703	16.2

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 2,206百万円 2024年3月期 1,698百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

当社は、2024年10月1日付で当社の完全子会社である株式会社幸楽苑を吸収合併したことに伴い、2025年3月期第3四半期決算より連結決算から非連結決算へ移行するため、連結業績予想は記載しておりません。

連結決算から非連結決算へ移行することによる業績予想の修正については、本日（2024年11月12日）公表いたしました「非連結決算への移行及び2025年3月期個別業績予想修正に関するお知らせ」をご覧ください。なお、従前のおり連結したと仮定した場合の連結業績予想については、前述の〔参考資料〕を参照願います。

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社（社名） 、 除外 一社（社名）

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	17,443,841株	2024年3月期	17,443,841株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	1,723,219株	2024年3月期	1,722,999株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	15,720,724株	2024年3月期中間期	15,278,556株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(重要な後発事象)	8
3. その他	10
(1) 販売の状況	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2024年4月1日から2024年9月30日まで)における我が国の経済は、企業収益の回復を背景にした高い賃上げ率により所得環境に改善がみられております。一方、個人消費は継続する物価高によって節約志向が強まり伸び悩みがみられ、不安定な為替相場や資源価格高騰に伴う物価高の影響により先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、昨年からの行動制限緩和による外食機会の増加に加えて、インバウンド需要増加により来店客数は順調に拡大しております。しかし不安定な国際情勢に起因する資源価格の高止まりにより店舗運営コスト(原材料費、光熱費)の上昇及び、最低賃金の上昇や人手不足による人件費関連コストの上昇を商品価格に転嫁できない厳しい経営環境が続いております。

このような経済環境の中、当社グループでは「外食の原点である魅力ある商品作りとQSCの向上」を掲げ、企業価値向上に取り組みました。お客様に来店頻度を上げていただく取り組みとして、毎月期間限定商品の販売を行い、ランチタイム以降にも来店いただけるよう時間帯限定「中華ダイニング」を販売しました。これらの取り組みをSNS等デジタルマーケティングにより新たな客層に来店訴求を行いました。また、9月にグランドメニュー変更を行い商品の入れ替えを行うと共に「中華そば」を始めとする定番商品の価格は据え置きました。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高は13,713百万円(前年同期比5.0%増)、営業利益427百万円(前年同期は営業損失409百万円)、経常利益403百万円(前年同期は経常損失421百万円)、親会社株主に帰属する中間純利益は512百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失253百万円)となりました。

また、当中間連結会計期間末のグループ店舗数は、373店舗(前年同期比49店舗減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであり、金額については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んで表示しております。

① ラーメン事業

ラーメン事業においては、近年の気温上昇に対応し4月から「冷し中華」を始めとする夏定番メニューの販売を行い、今夏の厳しい残暑に対して、喉越しのよい「ざるらーめん」「メガつけめん」「なめこつけめん」を販売し、お客様の選択の幅を広げました。9月にはグランドメニュー変更を行い、新商品として「にんにくバターらーめん」、復活商品として「スタミナらーめん」を商品ラインナップに加えました。ロードサイト店舗の23時までの営業時間延長の取り組みは、216店舗まで拡大しております。

店舗展開は、新規出店は行わず不採算店の閉店を行いました。その結果、店舗数は、直営店347店舗(前年同期比31店舗減)となり、業態別には「幸楽苑」342店舗、「幸楽苑 since1954+幸楽苑のからあげ家」5店舗となりました。

この結果、ラーメン事業の売上高は13,041百万円(前年同期比10.7%増)となりました。

② その他の事業

その他の事業は、フランチャイズ事業(ラーメン業態のフランチャイズ展開)、その他外食事業を行っております。

フランチャイズ事業は、店舗数は19店舗(国内12店舗、海外7店舗)となりました。

その他外食事業は、「焼肉ライク」直営店5店舗、「焼肉食堂まんぷく」直営店1店舗、「餃子の味よし」1店舗となりました。

この結果、その他の事業の売上高は672百万円(前年同期比47.5%減)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて161百万円減少し、3,176百万円となりました。これは、現金及び預金が90百万円、売掛金が73百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて300百万円減少し、6,829百万円となりました。これは、建物及び構築物が247百万円、リース資産が150百万円、敷金及び保証金151百万円の減少、投資その他の資産「その他」に含まれる繰延税金資産が232百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて461百万円減少し、10,005百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて122百万円増加し、6,201百万円となりました。これは、賞与引当金が153百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1,098百万円減少し、1,586百万円となりました。これは、長期借入金が941百万円、固定負債「その他」に含まれるリース債務が115百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて975百万円減少し、7,787百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ514百万円増加し、2,217百万円となりました。これは、利益剰余金が512百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2024年10月1日付で当社の完全子会社である株式会社幸楽苑を吸収合併したことに伴い、2025年3月期第3四半期決算より非連結決算へ移行いたしますので、2024年5月13日公表の2025年3月期の連結業績予想の代わりとして、本日(2024年11月12日)公表いたしました「非連結決算への移行及び2025年3月期個別業績予想修正に関するお知らせ」をご参照お願いします。

なお、個別業績予想及び[参考資料]従前のおり連結したと仮定した場合の連結業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,127,586	2,036,660
売掛金	670,392	597,330
棚卸資産	258,543	261,695
その他	281,337	280,769
流動資産合計	3,337,860	3,176,456
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,868,035	2,620,781
土地	1,227,001	1,245,936
リース資産(純額)	920,662	769,812
その他(純額)	328,564	363,297
有形固定資産合計	5,344,265	4,999,828
無形固定資産	120,892	111,014
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,355,326	1,203,596
その他	308,757	518,329
貸倒引当金	-	△3,732
投資その他の資産合計	1,664,083	1,718,193
固定資産合計	7,129,241	6,829,036
資産合計	10,467,102	10,005,493
負債の部		
流動負債		
買掛金	953,033	1,013,123
短期借入金	2,300,000	2,300,000
1年内返済予定の長期借入金	265,011	319,960
未払費用	1,009,197	1,006,442
未払法人税等	109,128	157,222
賞与引当金	149,468	302,510
店舗閉鎖損失引当金	1,000	17,450
転貸損失引当金	3,137	3,137
その他	1,288,706	1,081,688
流動負債合計	6,078,682	6,201,533
固定負債		
長期借入金	1,100,000	158,390
退職給付に係る負債	122,262	115,278
転貸損失引当金	4,444	2,875
資産除去債務	895,733	881,559
その他	562,727	428,227
固定負債合計	2,685,167	1,586,331
負債合計	8,763,850	7,787,864

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,328,459	3,328,459
資本剰余金	3,424,200	3,424,200
利益剰余金	△2,791,886	△2,279,470
自己株式	△2,383,370	△2,383,663
株主資本合計	1,577,403	2,089,525
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,027	5,944
退職給付に係る調整累計額	111,798	110,853
その他の包括利益累計額合計	120,826	116,798
新株予約権	5,021	11,305
非支配株主持分	-	-
純資産合計	1,703,251	2,217,628
負債純資産合計	10,467,102	10,005,493

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	13,063,253	13,713,196
売上原価	3,767,275	4,031,735
売上総利益	9,295,977	9,681,461
販売費及び一般管理費	9,705,182	9,253,592
営業利益又は営業損失(△)	△409,204	427,869
営業外収益		
受取利息	774	619
固定資産賃貸料	67,885	64,566
その他	59,254	35,187
営業外収益合計	127,913	100,372
営業外費用		
支払利息	42,722	31,462
固定資産賃貸費用	61,095	63,064
その他	36,375	30,333
営業外費用合計	140,194	124,860
経常利益又は経常損失(△)	△421,485	403,381
特別利益		
建設協力金精算益	15,955	43,324
その他	255,796	26,800
特別利益合計	271,752	70,125
特別損失		
減損損失	56,131	11,994
店舗閉鎖損失引当金繰入額	3,496	17,450
店舗閉鎖損失	40,841	11,835
その他	34,658	11,412
特別損失合計	135,128	52,691
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	△284,861	420,815
法人税、住民税及び事業税	22,400	140,000
法人税等調整額	△53,380	△231,600
法人税等合計	△30,980	△91,600
中間純利益又は中間純損失(△)	△253,880	512,415
非支配株主に帰属する中間純利益又は 非支配株主に帰属する中間純損失(△)	-	-
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△253,880	512,415

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△253,880	512,415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,157	△3,083
退職給付に係る調整額	5,936	△944
その他の包括利益合計	9,093	△4,028
中間包括利益	△244,786	508,387
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△244,786	508,387
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループの報告セグメントは「ラーメン事業」のみであり、セグメント情報の開示の重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(株式会社幸楽苑の吸収合併)

当社は、2024年5月27日開催の取締役会において、当社の完全子会社である株式会社幸楽苑を以下のとおり吸収合併することを決議し、同日付で合併契約を締結し、2024年10月1日付で吸収合併いたしました。なお、本合併は、2024年6月21日の当社の定時株主総会で承認可決されております。その概要は次のとおりであります。

1. 取引の概要

(1) 合併の目的

これまで当社グループでは経営資源の有効活用及び業務の効率化を目的に、広告代理店事業を行う連結子会社株式会社スクリーンを吸収合併し、グループ事業の選択と集中を目的に保険代理店事業を行う連結子会社株式会社デン・ホケンの保険代理店事業譲渡を行ってまいりました。

このように本業である飲食事業に経営資源を集中してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う政府による新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組みによる移動制限などにより、当社グループのビジネス環境は厳しい状況に陥りました。当社グループでは新型コロナウイルス感染症拡大における難局を乗り越えるべく、改めて当社の原点に立ち返り、魅力ある商品作りと店舗QSC(商品品質、サービス、清潔さ)レベル向上を務めております。

こうした中、当社グループの人材交流の活性化及び、事業施策を店舗へ即応させるためには、グループの組織体制見直し及び、意思決定の迅速化が必要であると判断いたしました。当社の完全子会社である株式会社幸楽苑を当社に吸収合併し、経営体制を一体化することで、経営の効率化を推進し企業価値向上に努めてまいります。

(2) 被合併企業の名称、事業内容及び規模

被合併企業の名称：株式会社幸楽苑

事業内容：飲食事業(国内直営事業)

規模：2024年3月期

資本金	10,000千円
資産	2,442,405千円
負債	4,572,654千円
純資産	△2,130,248千円
売上高	26,341,064千円
当期純利益	368,599千円
従業員数	395人

(注) 2024年3月31日現在、当社は株式会社幸楽苑に対し貸倒引当金を2,130,248千円計上しております。

(3) 企業結合日

合併期日(効力発生日) 2024年10月1日

(4) 企業結合の法的形式

当社を存続会社、株式会社幸楽苑を消滅会社とする吸収合併方式です。

(5) 合併に係る割当ての内容

当社は、株式会社幸楽苑の発行済株式の全てを保有しているため、本合併に関して、株式その他の金銭等の交付及び割当ては行いません。

(6) 結合後企業の名称等

名称：株式会社幸楽苑(旧会社名 株式会社幸楽苑ホールディングス)

(注) 2024年6月21日開催の定時株主総会の決議により、2024年10月1日をもって当社商号を「株式会社幸楽苑ホールディングス」から「株式会社幸楽苑」へ変更いたしました。

資本金：3,328,459千円

事業内容：飲食事業、フランチャイズ事業等

2. 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理する予定であります。

3. その他

(1) 販売の状況

① 品目別販売実績

(単位:千円)

期 別	前中間期		当中間期		(参考)前期	
	自 2023年4月1日 至 2023年9月30日		自 2024年4月1日 至 2024年9月30日		自 2023年4月1日 至 2024年3月31日	
品 目	売上高	百分比	売上高	百分比	売上高	百分比
直営店売上		%		%		%
らーめん類	5,801,369	44.4	6,957,784	50.7	12,380,411	46.2
セット類	3,876,560	29.7	4,372,829	31.9	7,972,654	29.7
ギョーザ	677,703	5.2	500,162	3.6	1,131,616	4.2
ごはん類	426,579	3.3	231,797	1.7	687,031	2.6
ドリンク類	289,150	2.2	300,032	2.2	564,131	2.1
洋・和食類	714,107	5.5	328,355	2.4	1,338,405	5.0
その他	1,014,365	7.7	788,482	5.8	2,240,155	8.4
計	12,799,837	98.0	13,479,444	98.3	26,314,406	98.2
F C店等材料売上	208,795	1.6	193,314	1.4	390,465	1.5
ロイヤリティ収入	35,680	0.3	28,596	0.2	64,981	0.2
そ の 他	18,939	0.1	11,840	0.1	31,122	0.1
合 計	13,063,253	100.0	13,713,196	100.0	26,800,975	100.0

(注) 1. 数量は品目が多岐にわたり表示が困難なため、記載を省略しております。

2. 千円未満は切り捨てて表示しております。

② 地域別販売実績

(単位:千円)

期 別	前中間期			当中間期			(参考)前期		
	自 2023年4月1日 至 2023年9月30日		期末 店舗数	自 2024年4月1日 至 2024年9月30日		期末 店舗数	自 2023年4月1日 至 2024年3月31日		期末 店舗数
地域別	売上高	百分比		売上高	百分比		売上高	百分比	
		%	店		%	店		%	店
東北	4,619,663	36.1	136	5,191,779	38.5	132	9,549,687	36.3	133
関東	6,700,086	52.3	221	6,976,213	51.8	185	13,731,754	52.2	198
東海	459,944	3.6	14	329,935	2.4	9	919,484	3.5	9
北陸甲信越	828,846	6.5	29	981,517	7.3	28	1,755,390	6.7	29
関西	191,296	1.5	3	-	-	-	358,089	1.3	-
計	12,799,837	100.0	403	13,479,444	100.0	354	26,314,406	100.0	369

(注) 1. 上記の金額は、直営店売上についての地域別販売実績であります。

2. 千円未満は切り捨てて表示しております。